

2. 取組の流れ

■推進委員会の開催

- ① モデル事業の目的・計画・補助事業の対象となる経費などの説明を含む検討会を実施
- ② 展開にあたっての検討事項の洗い出し、役割分担などの共通の運営ルールを作成・発布

■実施計画の策定

- ① 年間における実施計画を集約
- ② 教材や講師育成準備など年間計画に応じたプランニングを実施

■プログラム開発・講師育成・教材開発

- ① [フードチェーン食育]としての一体型のプログラムの開発実施-有識者/監修者連携
- ② ①に基づく教材開発と制作の実施

■事例実施

- ① 地域への5 A DAY 食育講師の派遣ならびに指導補助の随時実施
- ② 各実施主体者との情報連携と運営支援の実施

■効果計測

- ① 調査票の作成と送り込み・回収（実施当日・事後調査/モニター調査）
- ② 調査票回収と分析

■事例共有

- ① 推進委員による事例共有と、課題とその検証
- ② 全国関係団体への事業報告書の配布による事例普及活動の実施

3. 取組報告

1) プログラム開発・講師育成・教材開発

(i) プログラムの開発

当該補助事業の募集要綱で掲げられている「生産から食卓までの食の流れである『フードチェーン』という言葉の理解、その工程の一環への体験参加、健康食生活についての正しい理解の促進を体系的に実施する」ためには、高度な指導テクニックと新たな教材が必要とした。

当事業では、全国普及型となるモデル指導をめざし、①フードチェーンの説明方法の共通化（説明ツール利用とDVD視聴の義務化）、②農作業体験もしくは工場見学などの体験後とあわせて体験を補足する知識教育(5ADAY 食育インストラクターによる対面指導)の実施(30分)、③今後の課題検証のための事後調査が一体化となったプログラム開発を行った。

<プログラムの流れ>

① 移動車中での『フードチェーンってなあに?』DVD視聴



ほ場や工場への移動は、大型バスが使われる場合が多いため、移動車中の時間の有効活用とした。